

ULT通信

2017. 11. 8号 / vol. 74 発行 / ULT 図書館司書

さあ、11月が始まりました！ 世間はともかく、
ULTはちょっと盛り上がる11月！！ なぜなら
「ULT読書月間」だから！！
異様なテンションのULT通信をチェックだッ！

1階展示棚にマ
本・DVDなどを紹介中！
先生方の太鼓判が押された
おすすめ本もあろッ！



幕末・明治維新

特集展示

イベント ②
読書マラソン
座談会



22日(水)
16時30分より
読書マラソンランナー、
ランナーになりたい人、
だれでも歓迎！
参加方法はしつ下にのりだッ

22日(水)
16時15分より
爽しの歌声、だれでも聴く
ことがでる！
読書マラソン座談会と
はしんだッ

イベント ①
オーラス部
ミニコンサート



特典 ①
貸出点数無制限

しつ下の本、2万冊借りマ
くれても構わな！
でもそうなたら司書は
泣くまね！

特典 ②
読書マラソン開始マ
プレゼントあり

やるうとは思ってるんだま
ね！、というひとたち！
今こそ実行に務め時！
きつかけつて大事だから……！

新着案内

10月の新着は82点です。一部抜粋で紹介します。

↓楽しみながら古典の知識がつきます。

タイトル	著者	出版社
眠れないほどおもしろい源氏物語	板野博行	三笠書房
本日もちとをかし!!枕草子	小迎裕美子, 清少納言著	KADOKAWA
人生はあはれなり…紫式部日記	小迎裕美子, 紫式部著	KADOKAWA

↓海外小説をどうぞ。

タイトル	著者	出版社
ロボット・イン・ザ・ガーデン	デボラ・インストール	小学館
悪童日記	アゴタ・クリストフ	早川書房

↓特集展示「幕末・明治維新」関連本 *これらの本以外もたくさん展示しています!

タイトル	著者	出版社
幕末史	半藤一利	新潮社
西郷隆盛 1~4	海音寺潮五郎	KADOKAWA
小説岩崎弥太郎 三菱を創った男	嶋岡晨	河出書房新社
遺臣伝	子母澤寛	中央公論新社
小説伊藤博文 幕末青春児	童門冬二	集英社
天璋院篤姫 上下	宮尾登美子	講談社
警視庁草紙 上下	山田風太郎	角川書店
黒船	吉村昭	中央公論新社
シュマリ 1~2 (手塚治虫文庫全集)	手塚治虫	講談社
陽だまりの樹 1~6 (手塚治虫文庫全集)	手塚治虫	講談社

コラムde!!しー。

第74回は高橋が担当です。お題は「よく眠れる本」です。眠くなるほど面白くなかった本を紹介して、毒気満載のコラムにしようかと思いましたが、どんな本でも読んでいううちに面白く感じる私。なかなか思い浮かびませんでした。というわけで、1日の終り、眠る前に読んでほしい本を紹介しします。



良い日も悪い日もある。そして、何にも起こらない平凡な日も。そんな毎日を重ねていくことが人生だ、という気持ちにさせてくれる、益田ミリの『今日の人生』というコミックエッセイです。シンプルだけど(棒人間まで出てくる…)味わい深い、独特のタッチで描かれる作者の日常。ほのぼのしている画風に油断しながら読んでいると、心に刺さる一言をいきなり投げかけられてドキッとします。登場人物は、家族、恋人、仕事仲間、偶然隣に居合わせた見知らぬ人…。作者の周辺では、つねに何かしら起きている。他人から見れば何てことない出来事。作者はその場面を切り取って、表現していきます。例えば、行列に並んでいるとき、自分の前がいつも通路になるというエピソード。どんなにつめて立っていても、目の前を人が通り過ぎていく。私もよく経験があり、「なぜ?」と思っていたら、同じことを感じていた人がこの本の中にいました。読みながら「ああ、分かる」とつぶやいてしまう場面がきつとあるはず。〈共感〉は、自分や相手の気持ちに栄養を与えるようなもので、それだけで少し元気になれるですね。

ひとつひとつのエピソードは短く、寝る前に少しずつ読むにはぴったりです(私は一気に読んでしまいましたが)。慌ただしい1日の最後にちょっと本を開けば、読んでいううちに「そんな日もあるさ」という気持ちにさせてくれる本です。とりたてて良いこともなかったけど、別に悪くもなかったな、そんな人生もあり!と気持ちを切り替えて寝られることでしょう。

ここ最近、真面目なテーマが続いていたので、次回のテーマは「この本読まなきゃよかった!」にします。図書館便りのコラムにこのテーマか!?と思われそうですが、決してネガティブな意味だけではないと思います。笹木さんがどんな視点で本を選ぶか楽しみです。